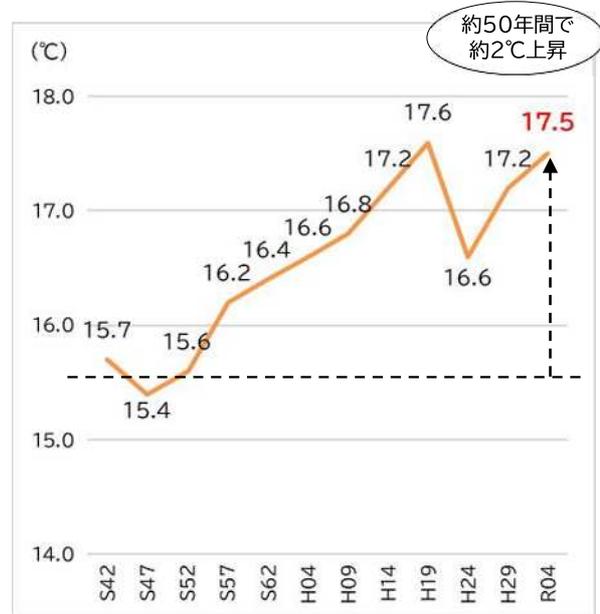
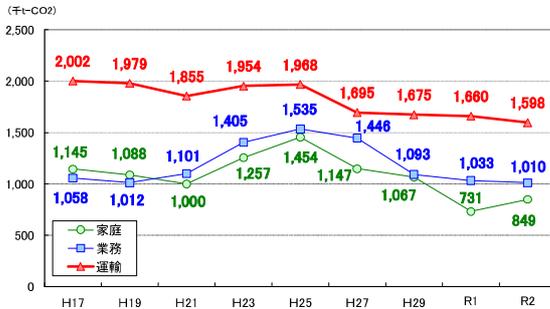


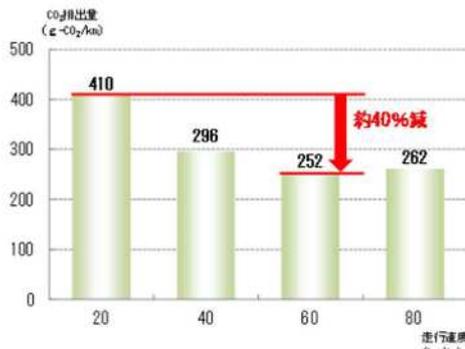
○ CO₂排出量と平均気温の状況

北九州市における部門別のCO₂の排出量の推移をみると、運輸部門におけるCO₂の排出量が最も多くなっています。CO₂の排出は、自動車の走行速度と密接に関係しており、走行速度60km/hがCO₂排出量が一番少ないとされています。

また、北九州市の平均気温は年々上昇しており、約50年間で約2℃上昇しています。



▲ 部門別二酸化炭素排出量の推移(北九州市)
資料:北九州市環境局グリーン成長推進課



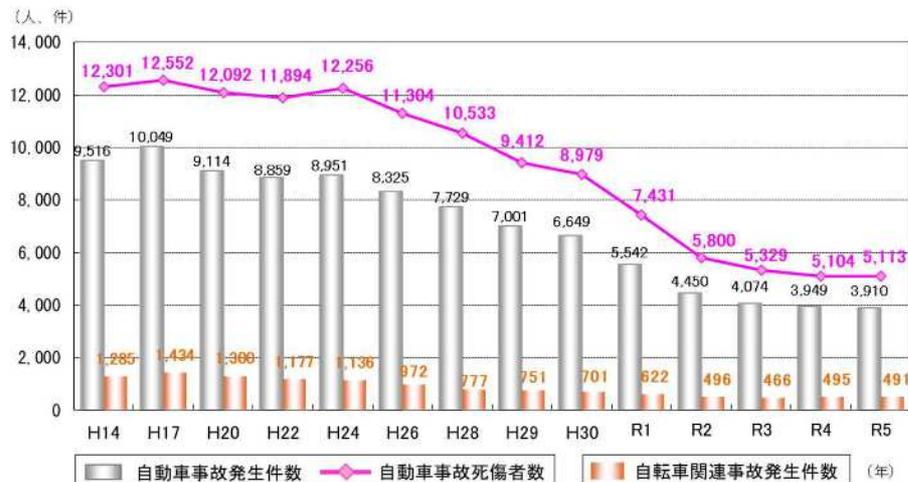
▲ 走行速度とCO₂排出量の関係
資料:国土交通省

▲ 北九州市の平均気温
資料:北九州市統計データ

○ 年間7,000件の自動車事故、年間700件の自転車事故

自動車事故発生件数は平成24年より減少傾向にあります。依然として、年間4,000件程度の自動車事故が発生しています。

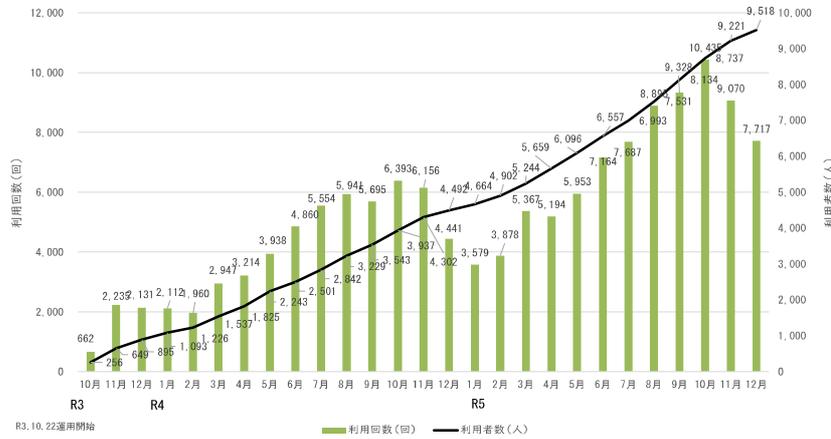
また、自転車事故発生件数も減少傾向にあります。依然として、年間500件程度の自転車事故が発生していますので、引き続き、交通管理者と連携して、交通事故対策を行う必要があります。



▲ 交通事故発生件数と死傷者数の推移
資料:北九州市統計データ

○ シェアサイクルの導入、利用増加

本市では、シェアサイクルの導入を令和3年10月から開始し、市内44箇所にステーションを設置いたしました。開始から約2年で、利用者数は約9,500人に上り、1ヶ月あたりの利用回数も増加傾向となっています。また、ポートが少ない、増やしてほしい、等の要望も寄せられています。



▲シェアサイクル(mikuchari)の利用状況



▲シェアサイクル(mikuchari)ステーション位置図

資料:北九州市建設局道路維持課

○ 道路等損傷の市民通報件数

令和4年度の道路等損傷の市民通報件数は、市全体で14,124件となっています。

(件数)

門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	市全体
1,791	2,424	2,991	1,787	1,138	3,121	872	14,124

※各区まちづくり整備課の環境整備事業の指示件数に、指示件数に関する市民要望の割合(令和5年8月実績)を乗じたもの。

▲令和4年度の道路等損傷の市民通報の件数について

資料:北九州市建設局総務課

4 みちづくりに関するニーズ

(1) みちづくりに関する市民ニーズ

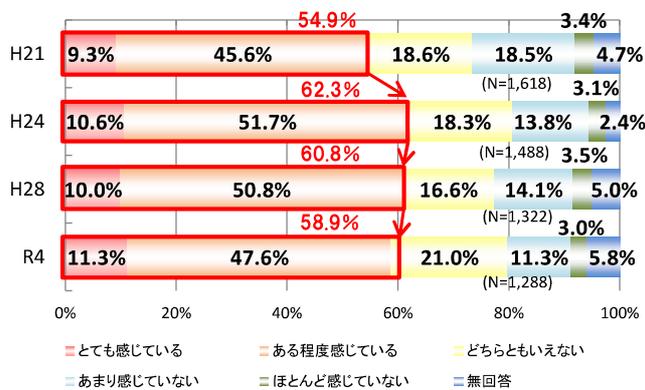
本市では、市民の意識と市民の行政施策に対する評価・要望等を把握するための市民意識調査と、本市のまちづくりに関する企業の満足度調査を毎年実施しています。

【市民対象調査結果】（対象：平成21年、平成24年、平成28年、令和4年）

「市内の車での移動が便利である」と回答された割合は、約6割となっています。一方で「車での移動が便利ではないと感じている理由」としては、道路の渋滞が多いことが挙げられており、交通渋滞対策が求められています。

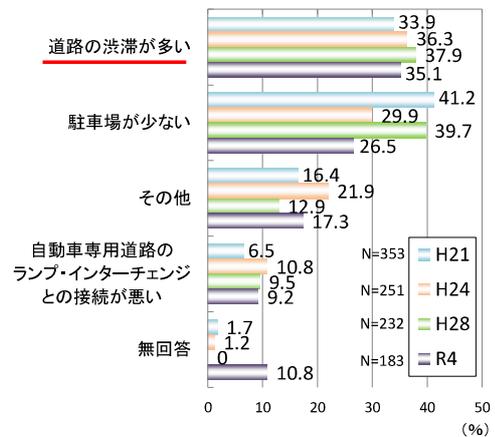
【市民対象調査】設問内容①

市内の車での移動は便利であると感じますか。



【市民対象調査】設問内容①-1

車での移動が便利ではないと感じている理由

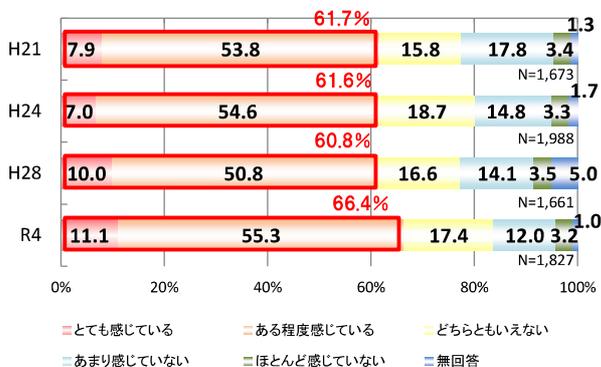


【企業対象調査結果】

「交通・物流インフラが十分整備されている」と回答された割合は、6割以上で増加傾向にあります。一方、「インフラが十分整備されていない理由」としては、幹線道路や都市高速道路、空港へのアクセスの整備が不十分であることが挙げられており、幹線道路等の整備促進が求められています。

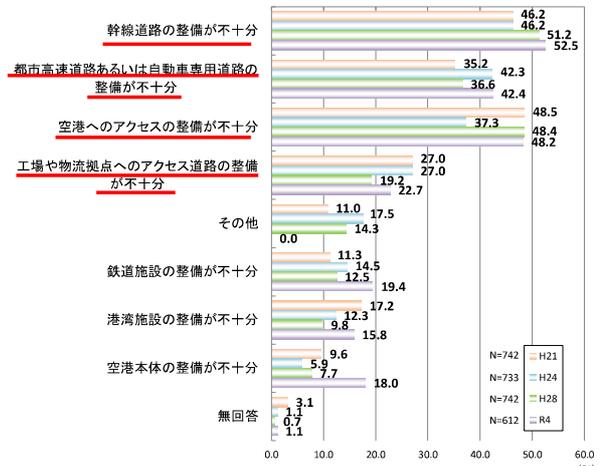
【企業対象調査】設問内容①

市内の道路、港湾、空港等の交通・物流インフラが十分整備されていると感じますか。



【企業対象調査】設問内容②-1

整備されていないと感じている理由



資料：市民意識調査、市政満足度調査

(2)道路整備中長期計画の内容に関する意見

【北九州市の道路整備を考える懇談会】

本計画の策定にあたっては、学識経験者、事業者や道路利用者等、様々な分野の方々で構成する「北九州市の道路整備を考える懇談会」を実施し、幅広くご意見をお伺いしました。

○検討経緯

時期	内容
令和6年 8月6日	第1回北九州市の道路整備を考える懇談会 ・北九州市の道路整備を考える懇談会について ・北九州市道路整備中長期計画(素案)について
令和6年 ○月○日	第2回北九州市の道路整備を考える懇談会 ・ ・



▲第1回懇談会の実施状況

○構成員名簿

分野	氏名	所属・役職
学識経験者	寺町 賢一	九州工業大学大学院 工学研究院建設社会工学研究系 教授
	内田 晃	北九州市立大学 副学長 地域戦略研究所 教授
事業者	福永 幸子	北九州商工会議所女性会理事
	阿部 政貴	西鉄バス北九州(株) 取締役営業本部長
	大瀬 博巳	福岡県トラック協会 北九州支部長
地域団体・道路利用者	井上 龍子	八幡駅前開発(株) 代表取締役
	村上 愛華	北九州市立大学 地域創生学群・地域創生学類4年
	藤井 身依	北九州市 PTA 協議会 副会長
	辻本 萌々花	九州工業大学 工学部4年

【市民意見募集(パブリックコメント)】

本計画に関する「市民意見募集(パブリックコメント)」を実施しました。市内〇〇箇所(本庁、区役所、出張所等)での資料の配布・閲覧、市ホームページでの閲覧や市政だより、市公式SNSでの周知を行ってご意見を募集した結果、市民の方から下記の項目に関するご意見が提出されました。

項目		件数
ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり		〇件
1-1	稼げるまちを支える広域道路ネットワークの構築	〇件
〇-〇		〇件
〇-〇		〇件
ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり		〇件
2-1	魅力的なみちづくり	〇件
〇-〇		〇件
〇-〇		〇件
〇-〇	整理イメージ	〇件
〇-〇		〇件
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり		〇件
〇-〇		〇件
〇-〇		〇件
その他		〇件
-		〇件
計		〇件

【道路利用者の意見及び市民アンケート】

本計画の策定に際しては、様々な年齢、世代の方々の声を計画に取り入れるために、道路利用者へのヒアリングや市民アンケートを実施し、幅広くご意見をお伺いしました。

<ヒアリングにおける主な意見など>

- 北九州市福祉のまちづくりネットワーク 令和4年度～5年度
 - ・視覚障害者用誘導ブロック付近の舗装に凹凸があると判別できないため、可能な限り舗装の凹凸を減らす
 - ・固定式グレーチングのボルト部には、杖がはまらないよう蓋等の処置が必要
- 企業(製造業、陸運業、海運業、物流業 計9社) 令和5年度
 - ・黒崎バイパスの整備(春の町ランプ開通)により国道3号の混雑が緩和され、利便性が向上した
 - ・工場周辺の生活道路における歩道の整備等の安全対策が必要
 - ・新門司地区や北九州空港へのアクセス強化が課題

<市民アンケート調査>

実施期間:令和6年10月〇〇日～令和6年10月31日
対象者:市民3000人
実施方法:郵送、QRコードなど
アンケート回収状況:〇〇件(〇%)

(主な回答)

- ・〇〇
- ・

【大学生レポート】

市道路計画課による講義「北九州市の道路政策について」で出題した課題に対する北九州市立大学の2～4年生のレポートにより、ご意見をお伺いしました。

<課題>

昨年度策定した「北九州市基本構想及び北九州市基本計画」に基づき、先ほど説明した「北九州市道路整備中長期計画」を今年度改訂することとしています。

- ① 北九州市の「道路整備」や「道路の維持保全」及び「道路の利用」等に関して、行政や民間に対して今後どのような取り組みに期待しますか。
- ② 自分ならどのように道路を利活用してみたいですか。
下記のポイントを踏まえて、自分の考えを記述してみてください。

<主な意見など>

- ・〇〇
- ・
- ・